

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年9月12日

【四半期会計期間】 第67期第3四半期(自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

【会社名】 正栄食品工業株式会社

【英訳名】 SHOEI FOODS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 本多市郎

【本店の所在の場所】 東京都台東区秋葉原5番7号

【電話番号】 (03) 3253 1211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 藤雄博周

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区秋葉原5番7号

【電話番号】 (03) 3253 1211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 藤雄博周

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第3四半期 連結累計期間	第67期 第3四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日	自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日	自 平成24年11月1日 至 平成25年10月31日
売上高 (千円)	66,903,010	74,359,078	87,945,220
経常利益 (千円)	2,746,437	2,171,590	3,039,358
四半期(当期)純利益 (千円)	1,870,424	1,293,498	2,075,818
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,569,535	1,645,741	3,767,827
純資産額 (千円)	27,556,489	29,051,351	27,754,211
総資産額 (千円)	53,509,730	56,722,641	54,530,140
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	96.16	66.50	106.72
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	50.3	50.0	49.7

回次	第66期 第3四半期 連結会計期間	第67期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日	自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.71	9.69

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策の効果により、景気は全体として緩やかな回復基調にありました。海外におきましては、米国経済が回復しつつあるものの、欧州でのデフレ懸念や地政学リスクの高まりなど、不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向が続く中、輸入物価の上昇や、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動など、依然として厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、乳製品や乾果実、ナッツ類等の国内外の売上が堅調に推移したことから、前年同四半期比11.1%増の743億59百万円となりました。

利益面では、食品原料事業での農産物価格の上昇等に伴う利益率の低下に加え、中国事業における輸出採算の悪化、また、物流コストやシステム関連費用等の販売費の増加により、営業利益は前年同四半期比7.6%減の20億72百万円、経常利益は前年同四半期比20.9%減の21億71百万円となり、四半期純利益は前年同四半期比30.8%減の12億93百万円となりました。

なお、平成26年5月31日にSHOEI FOODS(U.S.A.), INC.で発生した火災事故につきましては、焼失した原材料倉庫および在庫等が全て火災保険で補填される見込みのため、業績への影響はありません。また、主要生産工場は、この火災事故を免れ平常操業を続けており、被災資産の復旧も順調に進んでおります。

当期のセグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連 結 損益計算 書 計上額 (注)
	日本	米国	中国	計		
売上高	65,736	15,482	5,834	87,053	12,694	74,359
セグメント利益	2,521	270	14	2,806	734	2,072

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

1 日本

国内の売上高は、輸入乳製品、クルミ、アーモンドなどが大幅に伸長し、製菓原料や菓子事業など、総じて堅調に推移したことから、前年同四半期比9.5%増の657億36百万円となりました。セグメント利益は、農産物価格の上昇や、物流コストが増加したものの、国内工場の稼働率が改善したことなど、前年同四半期比11.5%増の25億21百万円となりました。

2 米国

当地域の売上高は、クルミ製品の米国内及び欧州、アジア向けの売上が増加し、日本向けアーモンド、レーズンの輸出も堅調であったことから、前年同四半期比14.1%増の154億82百万円となりました。セグメント利益は、クルミ事業やプルーン事業における原料の購買価格が上昇したことから、前年同四半期比2.0%増の2億70百万円となりました。

3 中国

当地域の売上高は、ナッツ、シード類の収穫減に伴い欧米向けの輸出が減少したことや、中国国内での製菓、製パン向けの販売が伸び悩んだことから、前年同四半期比12.1%減の58億34百万円となりました。セグメント利益は、輸出採算の低下や販売拠点の拡大に伴う管理費用の増加から、前年同四半期比95.7%減の14百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億92百万円増加し、567億22百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が6億96百万円、「原材料及び貯蔵品」が8億47百万円、それぞれ減少したものの、「受取手形及び売掛金」が16億27百万円、「商品及び製品」が24億97百万円、「仕掛品」が2億43百万円、それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ28億25百万円増加し、396億40百万円となりました。固定資産は、「投資有価証券」が3億40百万円増加したものの、「建物及び構築物」が5億76百万円、「機械装置及び運搬具」が3億81百万円、それぞれ減少したことから、前連結会計年度末に比べ6億33百万円減少し、170億82百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億95百万円増加し、276億71百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「未払法人税等」が2億90百万円、「賞与引当金」が3億28百万円、それぞれ減少したものの、「支払手形及び買掛金」が7億77百万円、「短期借入金」が7億51百万円、それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ12億11百万円増加し、249億77百万円となりました。固定負債は、「繰延税金負債」が1億2百万円増加したものの、「長期借入金」が4億66百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ3億15百万円減少し、26億93百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億97百万円増加し、290億51百万円となりました。その主な要因は、「繰延ヘッジ損益」が56百万円減少したものの、「利益剰余金」が9億53百万円、「その他有価証券評価差額金」が2億21百万円、「為替換算調整勘定」が1億61百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,585,000
計	48,585,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年9月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	21,159,914	21,159,914	東京証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あり、単元株式数は100株で あります。
計	21,159,914	21,159,914		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年5月1日か ら 平成26年7月31 日		21,159,914		3,379,736		3,042,770

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成26年4月30日の株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,708,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,417,700	194,177	
単元未満株式	普通株式 33,514		
発行済株式総数	21,159,914		
総株主の議決権		194,177	

【自己株式等】

平成26年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 正栄食品工業株式会社	東京都台東区秋葉原5-7	1,708,700		1,708,700	8.1
計		1,708,700		1,708,700	8.1

2 【役員状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年5月1日から平成26年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年11月1日から平成26年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,859,988	4,163,641
受取手形及び売掛金	16,372,704	17,999,947
商品及び製品	10,893,805	13,390,889
仕掛品	609,840	853,323
原材料及び貯蔵品	2,340,437	1,493,370
繰延税金資産	456,265	265,137
その他	1,288,903	1,480,213
貸倒引当金	7,590	6,350
流動資産合計	36,814,354	39,640,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,670,850	7,094,441
機械装置及び運搬具(純額)	3,949,082	3,567,247
工具、器具及び備品(純額)	309,741	273,960
土地	2,293,882	2,303,393
リース資産(純額)	138,763	136,099
建設仮勘定	262,697	351,664
その他(純額)	79,030	78,129
有形固定資産合計	14,704,048	13,804,936
無形固定資産		
ソフトウェア	18,540	8,752
その他	152,456	152,778
無形固定資産合計	170,996	161,530
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050,747	2,390,984
繰延税金資産	76,629	57,462
その他	767,596	716,827
貸倒引当金	54,232	49,271
投資その他の資産合計	2,840,740	3,116,003
固定資産合計	17,715,785	17,082,470
資産合計	54,530,140	56,722,641

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,860,161	9,637,957
短期借入金	10,864,604	11,616,439
1年内返済予定の長期借入金	621,400	621,400
未払法人税等	444,738	154,388
賞与引当金	685,000	356,614
役員賞与引当金	36,250	26,625
その他	2,254,223	2,564,220
流動負債合計	23,766,377	24,977,645
固定負債		
長期借入金	2,049,050	1,583,000
退職給付引当金	296,024	343,936
役員退職慰労引当金	209,527	220,205
繰延税金負債	273,374	375,598
その他	181,575	170,904
固定負債合計	3,009,550	2,693,644
負債合計	26,775,928	27,671,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	21,078,406	22,031,508
自己株式	1,300,309	1,300,413
株主資本合計	26,200,603	27,153,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	523,375	744,941
繰延ヘッジ損益	87,179	30,324
為替換算調整勘定	295,831	457,031
その他の包括利益累計額合計	906,386	1,232,297
少数株主持分	647,221	665,453
純資産合計	27,754,211	29,051,351
負債純資産合計	54,530,140	56,722,641

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	66,903,010	74,359,078
売上原価	57,761,232	64,856,960
売上総利益	9,141,778	9,502,117
販売費及び一般管理費	6,898,278	7,429,662
営業利益	2,243,500	2,072,455
営業外収益		
受取利息	4,719	5,180
受取配当金	30,847	32,713
為替差益	424,647	59,437
受取保険金	23,857	49,364
持分法による投資利益	30,893	15,162
その他	112,127	79,940
営業外収益合計	627,091	241,799
営業外費用		
支払利息	104,626	115,934
その他	19,528	26,729
営業外費用合計	124,154	142,664
経常利益	2,746,437	2,171,590
特別利益		
固定資産売却益	521	1,137
特別利益合計	521	1,137
特別損失		
固定資産除却損	18,867	26,010
その他	447	2,132
特別損失合計	19,314	28,143
税金等調整前四半期純利益	2,727,644	2,144,583
法人税、住民税及び事業税	644,120	590,980
法人税等調整額	195,537	233,401
法人税等合計	839,658	824,381
少数株主損益調整前四半期純利益	1,887,986	1,320,202
少数株主利益	17,561	26,704
四半期純利益	1,870,424	1,293,498

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,887,986	1,320,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266,116	221,194
繰延ヘッジ損益	138,872	56,855
為替換算調整勘定	1,276,560	161,199
その他の包括利益合計	1,681,549	325,539
四半期包括利益	3,569,535	1,645,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,542,969	1,619,408
少数株主に係る四半期包括利益	26,565	26,332

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)
減価償却費	1,212,270 千円	1,318,286 千円
負ののれんの償却額	8,117 千円	8,162 千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月30日 定時株主総会	普通株式	175,062	9	平成24年10月31日	平成25年1月31日	利益剰余金
平成25年6月10日 取締役会	普通株式	116,708	6	平成25年4月30日	平成25年7月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年1月30日定 時株主総会	普通株式	175,060	9	平成25年10月31日	平成26年1月31日	利益剰余金
平成26年6月13日 取締役会	普通株式	165,335	8.5	平成26年4月30日	平成26年7月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	59,086,266	5,269,190	2,547,554	66,903,010		66,903,010
セグメント間の 内部売上高又は振替高	932,359	8,302,583	4,089,904	13,324,847	13,324,847	
計	60,018,626	13,571,773	6,637,458	80,227,858	13,324,847	66,903,010
セグメント利益	2,261,066	265,537	334,283	2,860,888	617,388	2,243,500

(注) 1. セグメント利益の調整額 617,388千円には、セグメント間消去 32,769千円、全社費用 584,618千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,241,792	6,376,754	2,740,532	74,359,078		74,359,078
セグメント間の 内部売上高又は振替高	495,051	9,105,994	3,093,623	12,694,669	12,694,669	
計	65,736,843	15,482,748	5,834,155	87,053,747	12,694,669	74,359,078
セグメント利益	2,521,732	270,957	14,245	2,806,935	734,479	2,072,455

(注) 1. セグメント利益の調整額 734,479千円には、セグメント間消去 21,048千円、全社費用 713,431千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
1株当たり四半期純利益	96.16円	66.50円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,870,424	1,293,498
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,870,424	1,293,498
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,451	19,451

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(追加情報)

米国会計基準を適用している当社の連結子会社であるSHOEI FOODS(U.S.A.), INC.の工場において、平成26年5月31日に発生した火災に伴い焼失したたな卸資産及び固定資産の帳簿価額724,921千円につき、保険金を受領できる見込みであるため、米国財務会計基準審議会会計基準コーディフィケーション第605-40「収益の認識：損益」に基づいて、非貨幣性資産から貨幣性資産への強制転換の規定を適用し、焼失した「たな卸資産」及び「固定資産」の帳簿価額を減額するとともに同額を「未収入金（流動資産その他）」として計上しております。

2【その他】

第67期(平成25年11月1日より平成26年10月31日まで)の中間配当については、平成26年6月13日開催の取締役会において、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額 165,335千円
- (2) 1株当たりの中間配当金 8円50銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成26年7月10日

(注) 平成26年4月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 9月12日

正栄食品工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平野 満

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平野 雄二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている正栄食品工業株式会社の平成25年11月1日から平成26年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年5月1日から平成26年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年11月1日から平成26年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、正栄食品工業株式会社及び連結子会社の平成26年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。